

## 平成22年8月期 第1四半期決算短信

平成22年1月13日

上場会社名 株式会社 大庄

上場取引所 東

コード番号 9979 URL <http://www.daisyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平 辰

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 水野 正嗣

TEL 03-5764-2229

四半期報告書提出予定日 平成22年1月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年8月期第1四半期の連結業績(平成21年9月1日～平成21年11月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年8月期第1四半期	20,002	△4.9	△992	—	△799	—	△660	—
21年8月期第1四半期	21,043	—	68	—	216	—	△22	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年8月期第1四半期	△32.04	—
21年8月期第1四半期	△1.09	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年8月期第1四半期	54,006	30,697	56.5	1,479.13
21年8月期	53,776	31,575	58.4	1,521.84

(参考) 自己資本 22年8月期第1四半期 30,508百万円 21年8月期 31,389百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年8月期	—	10.00	—	11.00	21.00
22年8月期	—				
22年8月期 (予想)		10.00	—	11.00	21.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年8月期の連結業績予想(平成21年9月1日～平成22年8月31日)

(％表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	44,600	1.4	700	△22.0	1,000	△16.5	350	△24.6	16.97
通期	88,900	2.3	1,150	98.6	1,670	50.3	500	—	24.24

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年8月期第1四半期	21,198,962株	21年8月期	21,198,962株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年8月期第1四半期	572,696株	21年8月期	572,696株
-----------	-------------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年8月期第1四半期	20,626,266株	21年8月期第1四半期	20,949,251株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要因が内在しておりますので、実際の業績は予想値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成21年9月1日から平成21年11月30日まで）におけるわが国経済は、世界経済の減速から景気の後退局面が続き、円高とデフレという逆風の中で、さらに先行き不透明感が高まる環境下で推移いたしました。

外食業界におきましては、雇用・所得環境の悪化から消費者の節約志向がさらに高まり、業界内では低価格競争が激化し、一部を除いては客数、客単価がともに減少する状況に歯止めがかからず、極めて厳しい状況となりました。

このような状況の中で、当社グループは6店舗（当社6店舗）の新規出店を行いました。また、新たに低価格業態の「ジョン万次郎Ⅱ世」並びに「鳥キング」を開発し、計4店舗で業態転換を図った他、店舗改装は13店舗（当社10店舗、㈱イズ・プランニング3店舗）で行いました。

一方、営業施策としては、グランドメニューの刷新や低価格帯メニューの拡充、ランチ営業の強化、業績不振店対策の強化、携帯電話を利用した顧客会員化の推進などに取組みました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ4.9%減少の20,002百万円となりました。

事業のセグメント別では、飲食事業につきましては、当社グループの既存店売上高が対前年比10.5%の減少となったこと等により、売上高は前年同期比5.2%減少の17,748百万円となりました。

卸売事業につきましては、鮮魚卸売子会社の売上不振等により、売上高は前年同期に比べ9.3%減少の1,005百万円となりました。

不動産事業につきましては、賃貸物件の空室が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ11.7%減少の205百万円となりました。

フランチャイズ事業につきましては、フランチャイズ店舗の売上減少の影響等により、売上高は前年同期に比べ6.5%減少の93百万円となりました。

その他事業につきましては、物流子会社が行うグループ外取引先への配送業務が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ7.3%増加の951百万円となりました。

一方、利益面につきましては、売上高の減少により売上総利益額が大幅に減少したこと等により、営業損失は992百万円（前年同期は営業利益68百万円）、経常損失は799百万円（前年同期は経常利益216百万円）、四半期純損失は660百万円（前年同期は四半期純損失22百万円）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は12,128百万円となり、前連結会計年度末に比べて263百万円増加となりました。これは、短期繰延税金資産が282百万円増加したことが主な要因となっております。

また、固定資産は41,877百万円となり、前連結会計年度末に比べて33百万円減少となりました。これは、無形リース資産が59百万円増加したことに対し、減価償却が進んだこと等により有形固定資産残高が91百万円減少したこと等によるものであります。

##### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は12,227百万円となり、前連結会計年度末に比べて552百万円増加となりました。これは、未払金が653百万円減少したことに対し、短期借入金が855百万円増加したこと及び前受収益（流動負債の「その他」に含む）が542百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定負債は11,080百万円となり、前連結会計年度末に比べて555百万円増加となりました。これは、長期借入金が105百万円増加したこと及びリース債務が414百万円増加したこと等によるものであります。

##### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は30,697百万円となり、前連結会計年度末に比べて877百万円減少となりました。これは、四半期純損失の計上等により利益剰余金が887百万円減少したこと等によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ67百万円減少の7,033百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況については、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、175百万円の資金支出となりました。収入の主な内訳は、減価償却費831百万円であり、支出の主な内訳は、税金等調整前四半期純損失873百万円及び法人税等の支出額175百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、577百万円の資金支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出額545百万円及び敷金・保証金の差入による支出額29百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、685百万円の資金収入となりました。これは主に、借入金による純増加額934百万円の収入に対し、配当金の支払額226百万円等の支出があったことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年10月14日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、当社グループの事業年度における収益構造として、主力事業である飲食事業におきましては、各四半期別にお客様の飲食需要の変化に伴う季節要因による変動が非常に大きい、という事業特性があります。

特に、第1四半期(9～11月)の収益構造としては、売上高が他の3四半期期間に比べて少なく、利益面については構成比率が大きく低下するという特性があります。逆に、忘年会・新年会という年間を通して最大の宴会需要期となる第2四半期(12～2月)の売上高及び利益構成が非常に大きなウェイトを持っております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算出方法

定率法を使用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,081	7,148
売掛金	2,140	2,113
商品及び製品	724	668
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	253	236
未収還付法人税等	174	204
繰延税金資産	736	454
その他	1,195	1,213
貸倒引当金	△178	△173
流動資産合計	12,128	11,865
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,535	15,040
機械装置及び運搬具（純額）	609	582
工具、器具及び備品（純額）	1,670	1,737
土地	7,862	7,862
リース資産（純額）	585	205
建設仮勘定	72	—
有形固定資産合計	25,337	25,428
無形固定資産		
借地権	913	913
のれん	187	199
リース資産	59	—
その他	154	155
無形固定資産合計	1,314	1,268
投資その他の資産		
投資有価証券	163	151
出資金	6	6
長期貸付金	81	85
差入保証金	9,102	9,101
敷金	5,104	5,109
繰延税金資産	490	483
その他	557	557
貸倒引当金	△281	△283
投資その他の資産合計	15,225	15,213
固定資産合計	41,877	41,910
資産合計	54,006	53,776

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,422	2,557
短期借入金	2,400	1,545
1年内返済予定の長期借入金	2,493	2,518
1年内償還予定の社債	35	35
リース債務	98	43
未払金	3,079	3,733
未払法人税等	125	310
未払消費税等	328	216
賞与引当金	158	209
株主優待引当金	60	78
その他	1,027	427
流動負債合計	12,227	11,675
固定負債		
社債	3,857	3,857
長期借入金	4,594	4,488
リース債務	587	172
退職給付引当金	926	894
役員退職慰労引当金	495	487
受入保証金	612	620
その他	6	4
固定負債合計	11,080	10,525
負債合計	23,308	22,200
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,626	8,626
資本剰余金	9,908	9,908
利益剰余金	13,089	13,977
自己株式	△734	△734
株主資本合計	30,889	31,777
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	56	49
土地再評価差額金	△436	△436
評価・換算差額等合計	△380	△387
少数株主持分	188	185
純資産合計	30,697	31,575
負債純資産合計	54,006	53,776

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成20年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)
売上高	21,043	20,002
売上原価	7,509	7,285
売上総利益	13,534	12,717
販売費及び一般管理費	13,465	13,710
営業利益又は営業損失(△)	68	△992
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	2	2
専売料収入	187	203
その他	23	43
営業外収益合計	216	250
営業外費用		
支払利息	43	42
貸倒引当金繰入額	9	6
その他	14	8
営業外費用合計	68	57
経常利益又は経常損失(△)	216	△799
特別利益		
固定資産売却益	—	2
貸倒引当金戻入額	3	12
賞与引当金戻入額	—	23
店舗立退補償金収入	9	—
特別利益合計	12	38
特別損失		
固定資産除却損	39	25
店舗関係整理損	37	0
減損損失	41	86
その他	0	0
特別損失合計	119	112
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	110	△873
法人税、住民税及び事業税	90	77
法人税等調整額	35	△294
法人税等合計	125	△216
少数株主利益	6	3
四半期純損失(△)	△22	△660

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	110	△873
減価償却費	878	831
減損損失	41	86
受取利息及び受取配当金	△5	△3
支払利息	43	42
固定資産除却損	39	25
店舗立退補償金収入	△9	—
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△2
売上債権の増減額(△は増加)	15	△27
たな卸資産の増減額(△は増加)	△175	△73
仕入債務の増減額(△は減少)	△121	△134
未払消費税等の増減額(△は減少)	18	111
その他	473	50
小計	1,310	32
利息及び配当金の受取額	5	3
利息の支払額	△35	△35
法人税等の支払額	△988	△175
店舗立退補償金受取額	9	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	301	△175
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△558	△545
敷金及び保証金の差入による支出	△88	△29
敷金及び保証金の回収による収入	84	11
貸付けによる支出	△45	△1
その他	9	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△598	△577
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,021	855
長期借入れによる収入	250	835
長期借入金の返済による支出	△629	△755
自己株式の取得による支出	△284	—
配当金の支払額	△207	△226
少数株主への配当金の支払額	△0	△0
その他	△0	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	148	685
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△148	△67
現金及び現金同等物の期首残高	7,213	7,101
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,065	7,033

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日）

	飲食事業 (百万円)	卸売事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	フランチャイズ事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
（１）外部顧客に対する売上高	18,716	1,107	232	99	886	21,043	—	21,043
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	15	3,010	190	—	304	3,521	(3,521)	—
計	18,732	4,117	422	99	1,191	24,564	(3,521)	21,043
営業利益	226	20	116	82	21	467	(398)	68

（注）１ 事業区分は、売上集計区分によっております。

２ 各事業の主要な内容

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)
事業区分	主要な内容
飲食事業	当社及び㈱イズ・プランニングが営む料理飲食業 ㈱アルスが営む病院・事業用給食施設の運営
卸売事業	当社及び米川水産㈱が営む生鮮食品等の卸売業
不動産事業	当社及び㈱アサヒビジネスプロデュースの不動産賃貸・管理等の事業
フランチャイズ事業	当社のフランチャイズ加盟店からのロイヤリティ収入等の事業
その他事業	㈱ディ・エス物流の運送事業 新潟県佐渡海洋深層水㈱が営むミネラルウォーター等の飲料水の製造・販売

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日）

	飲食事業 (百万円)	卸売事業 (百万円)	不動産事 業 (百万円)	フラン チャイ ズ事 業 (百万円)	その他事 業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	17,748	1,005	205	93	951	20,002	—	20,002
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	7	2,814	187	—	327	3,337	(3,337)	—
計	17,755	3,819	393	93	1,278	23,340	(3,337)	20,002
営業利益又は営業損失(△)	△794	8	67	77	35	△605	(387)	△992

(注) 1 事業区分は、売上集計区分によっております。

2 各事業の主要な内容

項目	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)
事業区分	主要な内容
飲食事業	当社及び㈱イズ・プランニングが営む料理飲食業 ㈱アルスが営む病院・事業用給食施設の運営 ㈱壽司岩が営む料理飲食業及び外販等の事業
卸売事業	当社及び米川水産㈱が営む生鮮食品等の卸売業
不動産事業	当社及び㈱アサヒビジネスプロデュースの不動産賃貸・管理等の事業
フランチャイズ事業	当社のフランチャイズ加盟店からのロイヤリティ収入等の事業
その他事業	㈱ディ・エス物流の運送事業 新潟県佐渡海洋深層水㈱が営むミネラルウォーター等の飲料水の製造・販売

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店はないため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店はないため、記載を省略しております。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)

当社及び連結子会社において海外売上高がないため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)

当社及び連結子会社において海外売上高がないため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。